

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 11 月 26 日 (2024.11.26)

【国際公開番号】 WO2023/176669
【出願番号】 特願 2024-507826 (P2024-507826)
【国際特許分類】
A 61 B 17/135 (2006.01)
【F I】
A 61 B 17/135

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 9 月 12 日 (2024.9.12)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

患者に形成された穿刺部位を覆うように構成されたカバー部材と、
前記カバー部材に配置され、前記穿刺部位を圧迫するように構成された押圧部材と、を有し、

前記カバー部材は、前記押圧部材が位置する本体部と、前記患者の指同士の上に配置されるように構成され、前記本体部から第 1 方向に延在する第 1 帯体部と、前記本体部から前記第 1 方向と異なる第 2 方向に延在する第 2 帯体部と、前記押圧部材を挟んで前記第 2 帯体部と対向し、前記本体部から前記第 1 帯体部及び前記第 2 帯体部と異なる方向に延在する第 3 帯体部と、を備え、

前記本体部は、前記押圧部材と重なるように配置され、前記押圧部材よりも硬質な材料で構成された支持部材を備え、

30

前記本体部は、前記支持部材が位置する第 1 領域と、前記第 1 領域と前記第 1 帯体部、前記第 2 帯体部、及び前記第 3 帯体部との間に位置する第 2 領域と、を有し、

前記第 2 領域は、前記支持部材よりも延性が高い材料で構成され、

前記第 1 領域と前記第 2 帯体部との間に位置する前記第 2 領域の幅、及び、前記第 1 領域と前記第 3 帯体部との間に位置する前記第 2 領域の幅は、前記支持部材の先端側から前記支持部材の基端側に向かって小さくなる、止血器具。

【請求項 2】

前記第 1 領域と前記第 1 帯体部との間に位置する前記第 2 領域の幅は、前記第 1 領域と前記第 2 帯体部との間に位置する前記第 2 領域の幅、及び、前記第 1 領域と前記第 3 帯体部との間に位置する前記第 2 領域の幅よりも小さい、請求項 1 に記載の止血器具。

40

【請求項 3】

前記第 2 領域は、前記第 1 領域の周囲に位置し、前記第 1 帯体部、前記第 2 帯体部、及び、前記第 3 帯体部の各々の間に位置する前記本体部の縁部は、前記第 2 領域で構成される、請求項 1 又は請求項 2 に記載の止血器具。

【請求項 4】

前記支持部材は、前記第 1 帯体部側に位置し、前記支持部材の端部を形成する上端部と、前記上端部と反対側の端部を形成する下端部と、を有し、

前記支持部材の幅は、前記上端部から前記下端部に向かって小さくなる、請求項 1 又は請求項 2 に記載の止血器具。

【請求項 5】

50

前記支持部材は、前記上端部と前記下端部とを繋ぐ側面部を有し、

前記側面部は、平面視で、前記第1帯体部の中心線に対し、第1角度を形成しており、

前記第1角度は、前記第2帯体部の中心線と直交する直線が前記第1帯体部の中心線となす第2角度及び前記第3帯体部の中心線と直交する直線が前記第1帯体部の中心線となす第3角度よりも鋭角である、請求項4に記載の止血器具。

【請求項6】

前記第1帯体部、前記第2帯体部、及び前記第3帯体部は、前記支持部材よりも柔軟性が高く、かつ、前記第2領域の材料よりも延性の低い材料で構成されており、前記本体部の内表面側で前記本体部と固定されている、請求項1又は請求項2に記載の止血器具。

【請求項7】

前記第1帯体部、前記第2帯体部、及び前記第3帯体部は、前記第1帯体部、前記第2帯体部、及び前記第3帯体部の幅方向の両側に位置する側面の端部が前記本体部に固定されていない、請求項1又は請求項2に記載の止血器具。

【請求項8】

前記第2帯体部の前記本体部側に位置する端部は、平面視で、前記第2帯体部の前記本体部と反対側に位置する端部側に湾曲した第1凹部を有し、

前記第3帯体部の前記本体部側に位置する端部は、平面視で、前記第3帯体部の前記本体部と反対側に位置する端部側に湾曲した第2凹部を有し、

前記第2帯体部及び前記第3帯体部は、前記第1凹部及び前記第2凹部において前記本体部と接続されている、請求項1又は請求項2に記載の止血器具。

10

20

30

40

50